

からだところの相談実施状況

立川市健康会館におけるからだところの相談件数 (受付) 平日8時30分~17時

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R2	4	2	4	1	7	6	7	15	7	9	11	2	75
R3	4	2	6	8	4	1	2	8	11	7	5	9	67
R4	7	8	4	3	6	6	3	1	2	-	-	-	40
男性	1	3	1	2	4	1	1	0	0	-	-	-	13
女性	6	5	3	1	2	5	2	1	2	-	-	-	27

● 令和4年の年代別、相談原因別【男性】

	家庭	健康・病気 (メンタル)	経済・生活	事業・勤務	男女	学校	人間関係 他	計
10歳代								
20歳代	2	1						3
30歳代		1			1		1	3
40歳代		1						1
50歳代								
60歳代								
70歳代	1	3						4
80歳以上								
不明	2						1	3
計	5	6			1		2	14

● 令和4年の年代別、相談原因別【女性】

	家庭	健康・病気 (メンタル)	経済・生活	事業・勤務	男女	学校	人間関係 他	計
10歳代		1						1
20歳代								
30歳代		1						1
40歳代		1		1				2
50歳代	2	2						4
60歳代		1					1	2
70歳代	2			2				4
80歳以上		1						1
不明	3	6		1			3	13
計	7	13		4			4	28

※1人で多岐にわたる相談等が含まれるため合計数は一致しない場合がある。

● 主な相談内容と対応（要旨）

- ・【40代女性：こころの悩み】長年DVを受けてきた。避難していたが子の復学とともに立川市に戻る。夫とは別居中。夫も同じクリニックに通院しているので病院で鉢合わせてしまうかもしれないと思うと怖い。→DVから避難するというアクションを起こせたこと、今落ちついていることを労う。病院については転院を勧める。
- ・【女性（市外）：家族の相談】わかちあいの会参加者。子（短大生）が橋から飛び降りようとしたができなくて自分で警察を呼んだ。病院へ行った方が良かったかと思っただが診断がつくのが嫌だと本人が拒否。自分はどうすればよいのか。→母に気持ちを話し解決のため行動も行っているとのこと。受診はした方がよいと思うが、まずは住所地の保健センター等に相談すると医療機関も含めて相談できること、本人にも相談窓口として保健センター等を紹介してほしいことを伝えた。
- ・【50代女性：家族の相談】相談者、弟、両親の4人暮らし。50代の弟が最初は普通に話しているが、段々怒りとともに感情が高ぶり、気がふれたように叫び始める。ここ数年同じような状況。夜は眠れていない。睡眠薬は副反応の心配や、親は年金暮らし、自分もパートなのでお金もかかるので考えていない。食事、外出、身なりを整えることはできている。→傾聴。本人が辛いところから相談を始められると良い。本人を動かすのが困難な場合は、まずは家族が相談に行くこともできると伝える。電話などで話すことで気持ちが楽になることもあると伝える。
- ・【70代女性：仕事・生活】独居。広聴はがきで自殺をほのめかす記述があり。2回訪問し不在だったが、名刺を見て電話あり。仕事を4月に辞めさせられ、仕事を探してるが見つからない。生活保護の相談もしたが引越しが必要といわれ、この年になって引越し気もなく、もうあきらめてこのまま死のうとエンディングノートも書いた。→産業雇用安定センターへ連絡相談、本人と面接後仕事を紹介していただき、清掃の仕事につく。他の仕事も始めるつもりと定期的な連絡あり。
- ・【10代女性の母：こころの悩み】娘が精神的に落ち込んでおり、精神科で診てもらいたいと思っている。市内のクリニックに電話をしたら20歳以上でないと診られないと言われた。→年齢的には思春期外来が適当とつたえ、東京小児総合医療センター、他の市内クリニックも紹介。
- ・【80代女性：こころの悩み】老人性うつを診てくれる病院を教えてください。戦後から誰かのためにと一生懸命やってきて、元気でいるのに人の役に立てない自分が辛い。友人に相談をしたころ、「老人性うつ」の話聞いた。睡眠・食事はとれている。朝からいろいろ考えている。このままでは眠れなくなりそうだと。→緊急性は低いと考えられた。近隣クリニックを紹介。
- ・【50代女性：こころの悩み】実母の死去や、長女との確執、別居中の義父（85歳）の介護関係のことなどで何回か相談がある方。いろいろなことが重なり、ふと辛くなって涙がとまらなくなってしまう。眠れないことも多い→傾聴。不眠の症状には受診や市内のグリーフケア紹介。
- ・【70代男性：家族の相談】同居している40代息子の相談。息子は同居前一人暮らしの際に、化学物質アレルギーと糖尿病を発症し現在無職。生活が回らなくなり両親のところへ引き取られる形で同居となった。足に痛みがあり、家庭内で暴言暴力が見られている。治らないことで錯乱し、親に八つ当たりしており、精神的にもおかしいと感じる。一時期父親だけ避難したこともあるが現在は自宅に戻り3人で暮らしている。→電話や面談をとおして家族支援を行い、医療機関と連携し、本人を入院させることができたが、本人希望で数日で退院。現在は外来に通院しながら治療継続中。重層的支援体制整備事業の地域福祉課、医療機関と連携し支援継続中。